

国家公務員宿舎跡地で生まれ変わる枚方市民病院！

平成21年12月に枚方市へ病院建替用地として売却した旧国家公務員枚方合同宿舎跡地約1.0haで、現在新病院が建設中です。新病院の開院は、平成26年秋(予定)となっています。

〔国有地の有効活用〕 〔近畿財務局〕

昭和40年代の建築建物がほとんどを占めていた国家公務員枚方合同宿舎について、平成19年に「国家公務員宿舎の移転・再配置計画」に基づき集約整備することを決定。

創出された余剰地(約1.0ha)を枚方市からの公的取得要望を受け、平成21年12月に売却。



〔枚方市民病院の建替え〕 〔枚方市〕

昭和25年開設の枚方市民病院について、老朽化や災害時対応等の課題解決に向け、平成19年に新病院整備計画を策定。

現病院の東側に隣接する国有地を購入し新病院を建設することを決定。(新名称:市立ひらかた病院)

コラボ



〔財政融資資金の活用〕 〔近畿財務局〕

新病院建設のための財源として、国有地の購入費約6.8億円のうち、大半の6.2億円を近畿財務局から融資。

また、病院建設費についても、24年度までに5.5億円を融資。

(新病院の特色・機能)

- ◆ 小児・周産期医療の充実
- ◆ 二次救急医療の充実
- ◆ 内視鏡外科センターの設立
- ◆ がん治療の充実
- ◆ 災害時医療機能の確保
- ◆ 感染症対応機能の確保

(新病院イメージ図 提供:枚方市民病院)



新病院の概要

敷地・延床面積	20,927㎡、31,824㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、地上7階・地下1階建て
病床数	335床



近畿財務局

(現況図)



(※ 現病院跡地は移転後に駐車場等として整備される予定)